

安全データシート



1. 化学品及び会社情報

法人名 : 国立研究開発法人産業技術総合研究所
 住所 : 東京都千代田区霞が関 1-3-1
 担当部門 : 計量標準総合センター 計量標準普及センター 標準物質認証管理室
 担当者 : 認証標準物質担当
 電話番号 : 029-861-4059 ファックス番号 : 029-861-4009
 緊急連絡電話番号 : 同上

作成日 : 2014年1月7日

改正日 : 2020年1月31日

整理番号 : 6202001

化学品の名称(製品名) : 認証標準物質 NMIJ CRM 6202-a ヒト血清アルブミン溶液
(Human Serum Albumin)

推奨用途及び使用上の制限 : 本標準物質は、アミノ酸分析、クロマトグラフィー、吸光光度分析等の機器分析によるアルブミンの定量分析における分析機器の校正、精度管理、分析方法や分析装置の妥当性確認に用いることができる。試験・研究用以外には使用しないこと。
 本標準物質は、標準物質（日本産業規格（JIS）Q0030に定められるもの）である。

2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 分類できない

GHSラベル要素 : -

注意喚起語 : -

危険有害性情報 : -

その他の有害性情報 : 本標準物質はヒト血清を材料としている。HBs 抗原、HCV 抗体および HIV 抗体、およびこれらの遺伝子検査の検査は陰性であるが、感染性は否定できない為、使用の際は保護手袋を着用するなど、検体と同様に十分注意して取り扱うこと。

注意書き : [安全対策]

点眼、服用、注射は絶対に行わないこと。

使用の際は保護マスクや保護手袋、保護眼鏡等を着用し、口に入ったり皮膚に付着したりしないよう十分注意すること。

[応急措置]

飲み込んだ場合、水で口の中を十分に洗浄すること。

眼に入った場合、直ちに水道水で十分洗眼し、異常があれば医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合、多量の水又は石鹼水でよく洗浄すること。外観に変化が見られたり痛みが続く場合には医師の診断を受けること。

[保管]

直射日光を避け、4℃で清浄な場所に保存すること。凍結させないこと。

[廃棄]

関連法規ならびに地方自治体の条例に従い、滅菌消毒後、医療廃棄物として廃棄すること。

都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に処理を委託すること。

上記で記載が無い危険有害性は分類対象外または分類できない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 混合物
成分 1	
化学名又は一般名	: アルブミン (ヒト血清由来)
化学特性	: -
分子量	: -
CAS 番号	: 70024-90-7
含有量	: 約 7 %
官報公示整理番号(化審法)	: -
官報公示整理番号(安衛法)	: -

成分 2	
化学名又は一般名	: 塩化ナトリウム
化学特性	: NaCl
分子量	: 58.44
CAS 番号	: 7647-14-5
含有量	: 約 0.1 %
官報公示整理番号(化審法)	: 1-236
官報公示整理番号(安衛法)	: 公表

成分 3	
化学名又は一般名	: アジ化ナトリウム
化学特性	: NaN ₃
分子量	: 65.01
CAS 番号	: 26628-22-8
含有量	: 約 0.05 %
官報公示整理番号(化審法)	: 1-482
官報公示整理番号(安衛法)	: 公表

4. 応急措置

吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、必要があれば医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	: 多量の水又は石鹼水でよく洗浄する。外観に変化が見られたり痛みが続く場合には医師の診断を受ける。
眼に入った場合	: 直ちに水道水で十分洗眼し、異常があれば医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	: 水道水で口の中を十分に洗浄する

応急処置をする者の保護 : 個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

消火剤 : 周辺火災適応消火剤。
 火災時の特有危険有害性 : なし
 特有の消火方法 : 火元の燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。
 消火を行う者の保護 : 消火活動は風上から行い、防火服、耐熱服、防護衣、空気呼吸器、循環式酸素呼吸器、ゴム手袋、ゴム長靴等の保護具を使用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。
 保護具及び緊急時措置 : 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入したりしないようにする。
 環境に対する注意事項 : 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
 回収、中和 : 少量の場合は水拭きする。多量に漏出した場合には水で洗い流す。
 二次災害の防止策 : 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。風上から作業して、風下の人を退避させる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 点眼、服用、注射は絶対に行わないこと。
 使用の際は保護マスクや保護手袋、保護眼鏡等を着用し、口に入ったり皮膚に付着したりしないよう十分注意する。
 局所排気・全体換気 : 蒸気やミストが発生する場合は、発生源を密閉し局所排気装置を設置する。
 安全取扱注意事項 : 感染の可能性があるものとして、使用の際は保護手袋を着用するなど、ヒト由来検体と同様に十分注意して取り扱うこと。
 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。
 使用後は容器を密閉する。
 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
 休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではならない。
 目、皮膚及び衣類に触れたりしないように、適切な保護具を着用する。

保管

適切な保管条件 : 直射日光を避け、4℃で清浄な場所に保存すること。凍結させない

こと。
 安全な容器包装材料 : ガラス

※標準物質としての適切な保管条件、使用に関する注意事項については、認証書を参照のこと。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

設定されていない

許容濃度 (塩化ナトリウム)

- ・ ACGIH TLV-TWA : 設定されていない
- ・ 日本産業衛生学会勧告値 : 設定されていない
- ・ OSHA PEL TWA : 設定されていない

許容濃度 (アジ化ナトリウム)

- ・ ACGIH TLV-TWA : Ceiling 0.11 ppm; as hydrazoic acid vapor
Ceiling 0.29 mg/m³; as sodium azide
- ・ 日本産業衛生学会勧告値 : 設定されていない
- ・ OSHA PEL TWA : 設定されていない

設備対策

- 換気・排気 : 局所排気装置又は全体換気装置。
- 安全管理・ガスの検知 : -
- 貯蔵上の注意 : 直射日光を避け、清浄な場所に密栓保存すること。

保護具

- 呼吸器の保護具 : 保護マスク
- 手の保護具 : 保護手袋
- 目の保護具 : 保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具 : 保護衣

衛生対策

- ・ マスク等の吸着剤の交換は定期または使用の都度行うこと。

9. 物理的及び化学的性質

- ・ 外観 : 液体
- ・ 色 : 無色透明
- ・ 臭い : データなし
- ・ pH : 6.68 (21 °C)
- ・ 融点 : データなし
- ・ 沸点 : データなし
- ・ 引火点 : データなし
- ・ 爆発範囲 : データなし
- ・ 蒸気圧 : データなし
- ・ 相対蒸気密度 (空気 = 1) : データなし
- ・ 比重又は嵩比重 : 1.0201 g/cm³ (20 °C) 、 1.0190 g/cm³ (25 °C)
- ・ 溶解度 : データなし
- ・ n-オクタノール/ : データなし

水分配係数 (log Po/w)

- ・ 自然発火温度 : データなし
- ・ 分解温度 : データなし
- ・ 燃焼性 : データなし

10. 安定性及び反応性

◇安定性

- ・ 通常条件で安定である。

◇反応性

- ・ なし

◇危険有害反応性

- ・ データなし

◇避けるべき条件

- ・ 日光、熱、

◇混触危険物質

- ・ データなし

◇危険有害な分解生成物

- ・ データなし

11. 有害性情報

有害成分(塩化ナトリウム、アジ化ナトリウム)はごく微量しか含まれていないが、安全を確保するために、口に入ったり皮膚に付着したりしないように取扱いには十分注意すること。

急性毒性

【塩化ナトリウム】

経口 ラット LD50 : 3000 mg/kg
 腹腔 マウス LD50 : 2602 mg/kg
 静脈 マウス LD50 : 645 mg/kg

【アジ化ナトリウム】

経口 ラット LD50 : 27 mg/kg
 マウス LD50 : 27 mg/kg
 ヒト 女性 LDLo : 14 mg/kg
 痙攣又は発作閾値への影響 心臓-不整脈、収縮力の変化
 ヒト 男性 LDLo : 129 mg/kg
 昏睡 心臓-心拍、その他変化
 吸入 ラット LC50 : 37 mg/m³
 眼に影響 痙攣又は発作閾値への影響 気管、気管支の機能変化
 マウス LC50 : 32400 mg/m³
 眼に影響 痙攣又は発作閾値への影響 気管、気管支の機能変化
 皮膚 ラット LD50 : 50 mg/kg
 腹腔 マウス LD50 : 28 mg/kg
 痙攣又は発作閾値への影響 運動活動の変化 呼吸刺激

皮膚腐食性/刺激性

【塩化ナトリウム】

皮膚 ウサギ 500 mg/24 時間 軽度

【アジ化ナトリウム】

	動物試験結果 4時間接触で腐食性
眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性	【塩化ナトリウム】 眼刺激 ウサギ 10 mg 中程度 眼刺激 ウサギ 100 mg/24時間 中程度
生殖細胞変異原性	【アジ化ナトリウム】 In vitro 微生物変異原性試験での陽性結果があるものの、in vitro 哺乳類細胞変異原性試験では陰性で、さらに哺乳類 in vivo 試験データがない。 強い変異原性は微生物と植物に特有のものともみなされている。
発がん性	【アジ化ナトリウム】 A 4 (ヒトに対して発がん分類できない)
特定標的臓器／全身毒性 (単回暴露)	【アジ化ナトリウム】 ヒトについて、血圧低下 (かつては治療薬として使用された) と、その呼吸器・消化器等への副作用と見られる事例が多数ある。
特定標的臓器／全身毒性 (反復暴露)	【アジ化ナトリウム】 ヒトで高血圧の治療に長期間使用した際。一部の患者に感受性の増大が見られたこと、動物実験で 10 (mg/kg) 1日以下の投与量で肝臓への影響が見られた。
その他	※有害性情報については、混合物としての情報がないため、原材料の情報より作成しています。 本製品は通常の条件下では安定であり、有害な添加剤成分が溶出する等の危険はありませんが、高温下での使用など特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を行ってご使用ください。

12. 環境影響情報

生態毒性	・データなし
分解性・濃縮性	・データなし
生体蓄積性	・データなし
土壌中への移動性	・データなし
オゾン層への有害性	・データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	:	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 医療廃棄物又は産業廃棄物の区別をして廃棄すること。
汚染容器及び包装	:	空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号	: 該当なし
国連分類	: -
品名	: -
容器等級	: -
ICAO/IATA	: 該当なし
海洋汚染物質	: 該当なし
注意事項	: 直射日光を避け、落下、転倒等による漏洩及び火気に十分注意し、慎重に運搬する。

15. 適用法令

適用法令なし

16. その他の情報

その他

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、全ての情報を網羅しているわけではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

記載内容は情報提供を目的としており、取扱い上のいかなる保証をなすものではありません。
